

# 東京を走らせる力



15-85

みんなてECO.

2015年10月23日

東京メトロは社会環境活動に積極的に取り組んでいます

## 「社会環境報告書 2015」を発行します

2014年度に実施した「安心＝安全＋サービス」「社会」「環境」に対する取り組みを紹介

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、東京メトロの事業活動を通じた社会環境活動を多くの方々にお伝えするために、その取り組みについて幅広くご紹介する「社会環境報告書 2015」を2015年10月23日（金）に発行します。

発行日から当社ホームページ（<http://www.tokyometro.jp/>）にて電子ブック又はPDF形式でご覧いただけるほか、同ホームページにて発送申込を受け付けます。

「社会環境報告書 2015」の概要は、下記のとおりです。

記

### 1 主な内容

東京メトロの社会環境活動について、鉄道事業者としての最大の使命である「安心＝安全＋サービス」、ステークホルダーとのつながりを示した「社会」、事業を通じた地球環境保全についてまとめた「環境」の3つの視点で記載しています。

各編において主に2014年度に重点的に取り組んだ活動の内容や実績を記載したほか、特集を2本立てとし、「東京メトロの世界初・日本初」・「東京メトロの環境対策最前線」を取り上げ、東京メトロの先進的な取り組みを紹介しています。

### 2 形式

A4版オールカラー

52ページ



以上

## 記事の概要

## 1 社会

「社会」の視点では、沿線地域や社員、取引先、投資家等ステークホルダーとの相互関係に関する施策として、沿線地域の活性化や次世代育成の支援に資する施策、国際協力に関する活動、安全・健康面のみならず社員のチャレンジの支援やダイバーシティを尊重する環境整備、取引先との公正な取引や投資家へ向けた情報開示といった施策などをご紹介します。

## 2 環境

「環境」の視点では、2020年度に向けた長期環境戦略「みんなでECO.」に基づいて取り組んでいるさまざまな施策を、「みんなでECO.」の3つのテーマである「東京メトロ自らのエコ化」「東京メトロを使ってエコ」「沿線地域とエコ」に分類してご紹介するほか、グループ各社を含む東京メトロの環境マネジメントシステムについてご紹介しています。

## (1) 東京メトロ自らのエコ化

車両や駅設備における省エネルギー対策をはじめ、廃棄物・資源消費の削減や、騒音・振動の低減のほか、再生可能エネルギーの利用といった環境負荷低減に向けた新技術の導入により、環境負荷を可能な限り低減していく施策についてご紹介しています。

## (2) 東京メトロを使ってエコ

少ないエネルギーで多くのお客様を運べる輸送機関である地下鉄を、より多くのお客様に安心してご利用いただくことで、東京全体の環境負荷を可能な限り低減していくための、バリアフリー設備整備をはじめとするお客様視点に立った利便性向上施策についてご紹介しています。

## (3) 沿線地域とエコ

「東京とともに成長する」との観点から、トンネル内湧水の活用、駅の緑化、植樹ボランティアへの参加など、沿線地域と連携した環境保全活動を推進していくことで、東京に集う人々の生き生きとした毎日に貢献していく施策をご紹介します。

## 3 特集

## (1) 東京メトロの世界初・日本初

東京メトロが首都東京を支える公共交通機関として、安心の提供や環境負荷の軽減を目指してこれまで取り組んできた数多くの技術革新のなかから、世界初・日本初の先進的な取組みをご紹介します。



世界初の省エネルギー車両  
千代田線6000系

南北線着脱式3連シールド



## (2) 東京メトロの環境対策最前線

東京メトロが実施しているさまざまな環境施策の中から、昨年度完成した「東西線ソーラー発電所」や「地中熱利用空調システム」など、最近実施したものを中心にご紹介しています。



東西線西船橋駅に設置した  
太陽光発電パネル